



学校だより



11月号

令和3年11月1日
横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂

この力を、さらにパワーアップ！

副校長 吉田 直好

10月23日（土）には、秋晴れの空の下、無事に善部スポーツフェスティバル（ZSF）を開催することができました。新型コロナウイルス禍での開催でしたが、子どもたちは日頃の練習の成果を存分に発揮することができました。

当日は保護者の皆様の深いご理解とご協力をいただきました。感染症対策のため、午前・午後の分散開催という全く新しい形をとりましたが、入場制限や完全入替制、校内一方通行等に全面的にご協力をいただき、混乱なくZSFを運営することができました。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

子どもたちのがんばっている様子は当日ご覧いただいた通りですが、当日に至るまでもたくさん輝く姿が見られていました。

1年生、2年生。あっという間に演技を覚え、ノリノリで表現する姿。休み時間にも自分たちで歌いながら、笑顔を浮かべて体を動かしている様子が見られました。表現すること自体を楽しんでいました。もしかすると家でも踊っていた子もいたかもしれません。

3年生、4年生。例年は一緒に踊るソーラン節。今年はそれができないでしたが、事前にお互いの演技を披露しあい、当日の健闘を誓いあいました。ソーラン節の先輩として、4年生から3年生にアドバイスをする頼もしい姿も見られました。

5年生、6年生。同じ飛翔の演技でしたが、それぞれの良さやカラーを表現しようとしていました。動きや声に気迫があふれる5年生。指先や目線まで神経をいき渡らせて高い完成度を目指す6年生。どちらも善部小学校の高学年としての誇りと自覚をもって真剣に練習に取り組んでいました。真剣な表情を見ると思わず身震いしました。

また、6年生と3年生による「盛り上げ隊」の活動。当日の盛り上げはもちろんですが、見どころ紹介の動画づくり、新聞づくり、応援の仕方の動画作成などなど、子どもたちの柔軟なアイデアを生かして、ZSFを盛り上げるために活動しました。

これらの子どもたちの姿を考えると、当日を迎える前にすでにスローガン「勝っても負けても楽しもう 絆を深めるZSF」は達成できていたのだと思います。

ZSFも終わり、11月になります。学校外に出る行事が多く計画されています。ZSFの開催にあたり、一人ひとりが考えたり、友だちと協力したりして得た力を生かしていきましょう。そして、この力を、さらにパワーアップさせてほしいです。

